

前橋女子高校
青木今日子、白石成美、橋本恭子、柳田晶代



八月二十一日、カリフォルニア工科大学で研修が行われた。ここではジェット

火星探査機の技術に感動

推進研究所(JPL)やレーザー干渉重力観測施設(LIGO)の見学と五人の日本人研究者から講義を受けた。

JPLでは二〇〇九年に火星に行く探査機の組み立て現場を見学した。探査機が数年後には火星で活動していることを想像し、最先端の科学技術に触れているという高揚感と、何とも言えない感動がこみあげた。

講義はどれも研究者の熱意が伝わる充実したものだった。中でも印象に残ったのは、ロボット工学に関する藤原清司さんの講義だった。

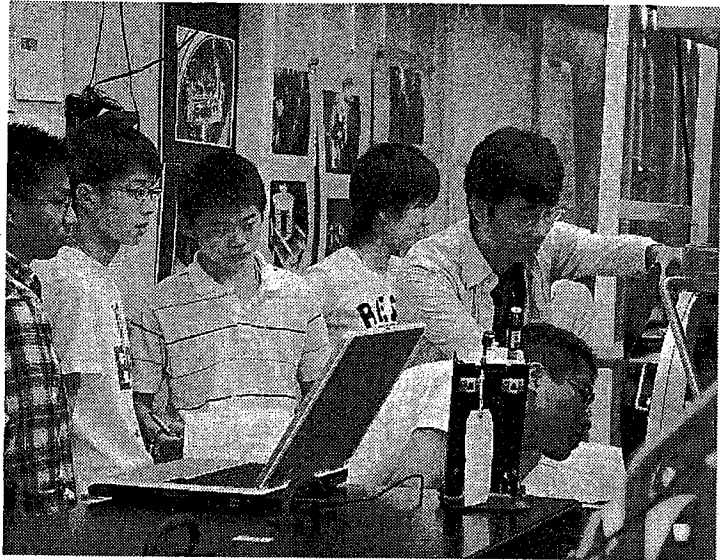
現在、世界各地で人間型ロボットが次々と開発されている。地震が多発する高齢社会の日本で開発が急務なのは、災害救助ロボットだと強く感じた。この講義でロボットを研究したいという漠然とした夢は「どんな場所にも救助に行くことが出来るロボットを開発

したい」という目標に変わった。

また、講師を含む十人の日本人研究者とともにしたバーベキューは楽しく有意義だった。みな気さくで素朴な質問にも答えてくれ、講義とは違う知識と経験を得ることができた。

生命科学の杉本薫さんの純粹に真理を追究する姿勢は格好良く、基礎科学の研究の大切さや、研究に対する姿勢を学べた。

今回の派遣で進路選択の幅が確実に広がった。目標に向かって、これまで以上に努力していきたい。



LIGOで実験装置の説明を受ける参加者たち